

気候

1 6つの気候区

① の気候(亜熱帯)・・・

年間を通して降水量が多く、気温が高い。月平均気温は15℃を下回らない。梅雨と台風。特に台風の通り道となるため、台風銀座と呼ばれている。

② の気候 ……………

年間を通して降水量が少ない。中国山地と讃岐山脈・四国山地が季節風をささげる。

③ の気候 ……………

冬の降水量が多い。冬の北西の季節風と暖流の対馬海流の影響。特に新潟県を中心とした北陸地帯は冬の豪雪地帯となる。

④ の気候 ……………

夏の降水量が多い。特に南端に突き出た高知県や和歌山県南部の夏の降水量は非常に多い。夏の南東の季節風と梅雨・台風の影響。

⑤ の気候 ……………

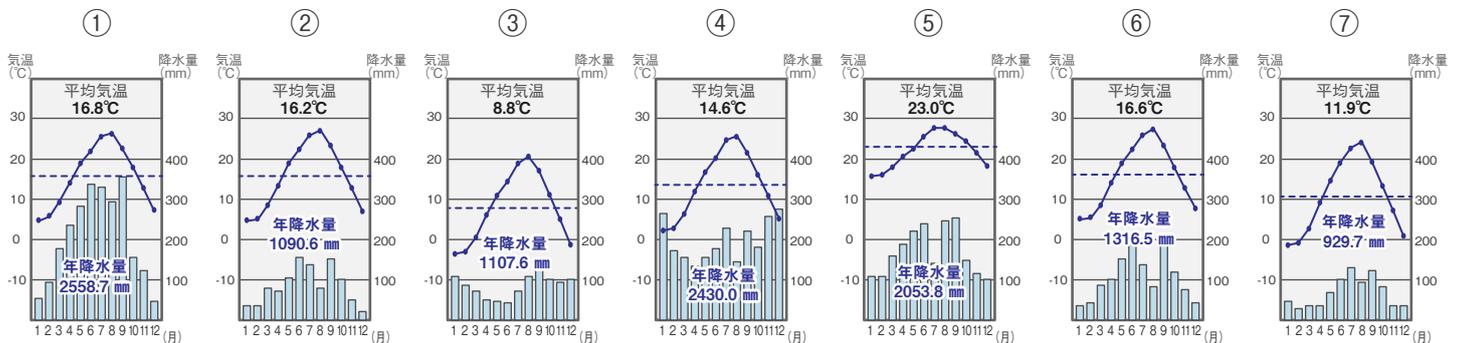
年間を通して降水量が少ない。夏と冬の気温差が大きく、1月の月平均気温が0℃以下。周囲を山に囲まれている。長野県野辺山原(ハケ岳)、群馬県嬬恋村などは標高が高く、夏でも涼しい。

⑥ の気候(冷帯)……

降水量が少なめ。1月と12月の月平均気温が0℃以下。内陸部(帯広など)は夏と冬の寒暖差が大きい。太平洋側東部(根室など)はやませの影響で濃霧が発生し、日照時間が短い。梅雨と台風の影響を受けない。

2 雨温図の問題

次の①～⑦は、札幌(北海道)、長野(長野県)、金沢(石川県)、和歌山(和歌山県)、高松(香川県)、高知(高知県)、那覇(沖縄県)のいずれかの雨温図です。①～⑦に当てはまる地名を答えなさい。



① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

※解答テクニックはHPを参照してください。